

基本情報



【年 齢】
25歳
【出身地】
新潟県 三条市
【転出元】
新潟県 三条市
【前 職】
大学 学部生
【活動時期】
R4.4～R7.3
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

私はかねてより自然保護等の仕事・活動に興味があり、かつ学生時代の奄美旅行でその独特の自然に魅了され、「奄美の自然を守りたい」・「その素晴らしさを伝えたい」という思いがあった。加えて2021年7月に奄美群島が世界自然遺産に登録された事をきっかけに本格的に奄美での自然保護関連の仕事を探した所、大和村の地域おこし協力隊として自然保護に携わることができることを知り応募した。私は「奄美自然体験活動推進協議会」という奄美群島12市町村と鹿児島県、環境省から組織される協議会の事務局員として主に奄美野生生物保護センターで勤務しています。

今後の抱負・任期後の目標

今後は刊行物の発行等を通して自然保護の啓発活動・魅力発信等はもちろんであるが、特に外来種駆除に力を入れて活動していきたいと考える。そして、私の任期終了後も地元の人々が中心になって外来種駆除活動を続けていける体制を作ることが第一目標である。

任期終了後は大学院へ行き、専門分野の研究に精力を注ぎたい。大学院修了後は夢であった中学校教員となり、地元の公教育に貢献したいと思う。

活動内容

●刊行物の発行

奄美自然体験活動推進協議会では毎年「わきゃあまみ」という主に群島の小中学生を対象にし、奄美の自然や生きものの魅力を伝える目的で冊子を発行しています。わきゃあまみは子ども達はもちろん、観光客や島内の方からも人気が高いです。現在はそのバックナンバーの改訂、今年度分の作成準備等行っています。



●奄美野生生物保護センター運営に関わる業務

出向先の奄美野生生物保護センターの日々の運営に関わる業務をしています。開館・閉館作業や来館者対応はもちろんのこと、展示水槽等の管理・運営も他のセンター職員と協力して行っています。



●アマミノクロウサギのロードキル対策モニタリング調査・国立公園のセンサーカメラ管理等

村道の一部に設置したロードキル対策実証実験のモニタリング調査を実施しその効果検証を行う他、希少生物が生育・生息している場所にセンサーカメラを設置し盗採盗掘防止対策を行うことで、その保護に努めています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】環境省 奄美野生生物保護センター
(メールアドレス) amami_rabbit@public-yamato.jp
(電話番号) 0997-55-8620